

II 事務局よりのご報告とご連絡

連合会ニュース5月号は行事の中止・延期で投稿激減のため、在宅勤務・オンライン会議等の投稿でまとめました。

◎ 「在宅勤務に思う」(津田敦副学長・社会連携副本部長)

昨年の12月武漢で新型コロナウイルスが流行し始めたときは対岸の火事といった感覚でしたが、瞬く間に状況は変わり、また日々変化しています。

現在、東京大学はレベル3の対応となり、機器や実験生物の維持など最低限の活動に留め、多くの職員は在宅勤務となっています。最も重要な授業は、開講の延期を決定した大学が多い中、東京大学は遠隔授業の実施をいち早く決定し、Zoomなどのソフトを用いて学部から大学院で授業を行っています。この体制作りのスピード感はさすが東京大学であり、多くの大学関係者がその情報サイトを参考にしていると聞きます。現在、授業が開始されてから2週間ほどが経過していますが、数々の問題はあれど、大きな問題は起こっていません。しかし、学校とは人が集まる場所であり、特に新生に突然遠隔授業を強いるのは、本当に心苦しいことです。またすべての課外活動も中止されており、新生勧誘もできない状況にあります。駒場のサークルなどは、1、2年生が中心で活動しており、一学年に大きな谷ができることが、活動の継続に大きな枷となるかもしれません。

さて私は、卒業生担当の副学長を拜命してから、1年が経過し、ようやく、全体像が見えだしたところでした。地域の同窓会にもお声がけをいただければ、お邪魔し、大変楽しい思いをさせていただき、また見識を広げる機会を頂きました。しかし、昨年10月の埼玉銀杏会が台風の影響で延期になり、2月の兵庫東大会は、コロナで開催できませんでした。しばらくは同窓会の開催は難しいと思うと、残念です。一方で、テレワークの日常化で、地域同窓会連合の長崎さん、岡崎さん、土田さんとは画面越しではありますが、定期的にお話しする機会を得ています。インターネット経由の会話が、対面での会話にとっかわるとは思えませんが、時間や距離を意識せず会話の機会を増やせる手段と考えれば、有効に利用しない手はないと感じるようになりました。

卒業生の皆様におかれましては、大学より厳しい局面に立たされている方も多くいらっしゃるかと想像します。一日も早い鎮静化を祈念するとともに、大学として卒業生や社会に対してできることを、地域同窓会や校友会の方々と議論してゆかねばならないと考えています。また、在学生らが、皆様のお力添えをお願いする機会もあるかと思えます。東京大学では「新型コロナウイルス感染症緊急対策基金」を立ち上げ(<https://utf.u-tokyo.ac.jp/project/pjt220>)、第一フェーズとしては医療対策(治療薬・ワクチンの開発、検査キットの開発、医療体制の充実等)に充てられますが、在学生へ支援も検討されています。

グレーター東大コミュニティが力を合わせてこの難局を乗り切つてゆければと思います。皆様にお会いできる日を心待ちにしています。

◎ 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)緊急対策について～大学URLより

(1) [新型コロナウイルス感染症(COVID-19)緊急対策のために～総長メッセージ全文]

東京大学総長 五神 真

現在、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が、世界規模で爆発的に拡大しています。国内においても都市部を中心に患者が急増し、終息の見込みは立っておりません。特に海外では医療崩壊により十分な医療が受けられない状態に陥るケース等も発生し、これまでに例をみない被害が生じています。そうした困難を前に、現場で過酷な診療業務に就いている方々に、心からの敬意と感謝の意をお伝えしたいと思います。

東京大学では、すべての構成員の健康を最優先するとともに、学生の学びの機会を確保するため、オンライン授業への全面的な移行を進めました。その一方で、学生それぞれの接続環境によって不公平が生じないよう対策を講じています。なによりも東京大学の学生には自立した個人として、その行動が他者や社会に与えることの自覚をもち、他者への思いやりを大切にすること、そしてこの危機は必ず終息するということを忘れず、焦らず、希望を持ち、諦めないことを伝えています。

感染拡大を阻止するためには、治療薬やワクチンの開発等を進めることも喫緊の課題です。本学の研究力を活かして、治療に寄与する薬剤の同定や検査技術の開発さらには疫学的解析など様々な分野で研究・開発を進めています。これまでも感染阻止の効果が期待できる国内既存薬剤を同定したことを発表するとともに、東京大学ではPCR検査を迅速に行うことのできる検査機器の導入、コロナ対応ICUの整備、中等症患者に対応する病棟の開設など、全診療科の医師・看護師が参加しての医療体制の充実を図ってきました。

しかしながら、現時点で速やかに実行すべき取り組みは、これにとどまらず広範囲にわたります。ここに挙げた学習環境の整備や、医療体制の更なる充実はもちろんのこと、例えば財政的基盤が脆弱な東大発ベンチャー企業の支援等、それ以外にも多数考えられます。それらに対応するには、さらに充実した財政的 downstairs が必要不可欠です。

いま、この未曾有の難局にあたり、東京大学は、開学140年にわたる知の協創の拠点として、世界最高水準の学問の

叡智を結集させ、この人類の新たな脅威に全力で立ち向かう所存です。

再び、安心して暮らせる日常を共に、一日も早く取り戻すべく、皆さまのご支援をお寄せいただきますよう、お願い申し上げます。

(2) 東京大学への支援(新型コロナウイルス感染症緊急対策基金 要領)

【募集期間】

第1次：2020年4月20日～2020年6月30日

【基金の用途】

第1次期間で集まった寄付金は、新型コロナウイルス感染症の医療対策(治療薬・ワクチンの開発、検査キットの開発、医療体制の充実等)の中で、即時性を追求し、新型コロナウイルス感染症緊急対策基金運営委員会の提案のもと総長が決定し活用いたします。

【領収書の発送・お問合せについて】

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、現在、東京大学基金事務局の全職員は在宅勤務をいたしております。領収書の発行について、即時の対応は難しく、緊急事態宣言の発令解除後、基金事務局の通常運営が再開次第、順次対応させていただく予定です。当面の間は、お電話でのお問い合わせをいただきましても応答することができません。お問い合わせが必要な場合は、こちら(問合せフォーム)よりお願いいたします。ご不便をおかけいたしますが、何卒、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

* 寄付金申込など詳しくは、[東京大学HP参照](https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/president/COVID-19-message-3.html)

<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/president/COVID-19-message-3.html>

(3) 追記 2020年05月01日(金)

ご寄付をいただいた皆様へ

この度は急なお願いにもかかわらず、多くの温かいご支援を賜りまして誠にありがとうございます。4月末時点で277件、12,487,501円のご寄付が集まっております。わずか10日間でこれだけのご支援を賜りましたこと、心より厚く御礼申し上げます。また、ご寄付だけでなく、大学への期待や激励のお言葉も数多くいただいております。こちらにつきましても、重ねて御礼申し上げます。

皆様のご期待にお応えできるよう、東京大学はこの難局に全力で立ち向かってまいりますので、引き続きのご支援とご協力をどうぞよろしくお願い致します。

東京大学理事・副学長(社会連携担当)
藤井輝夫

◎ 事務局からのお願い

① 新型コロナウイルスとの闘いは長期戦となるようです。感染者確認方法も不足し、ワクチンもできていない段階では、共存というよりは来年まで続く長期戦となるかと思えます。長期戦は活動しながら戦い続けることです。同窓会の基本活動は集まり・交流・親睦と正に三密の活動ですが、無策のまま自粛を続けずに同窓会活動を継続する工夫が重要と考えます。無症状でも人に感染させる難敵への万全の対策を講じながら同窓会活動を維持することが必要です。

② 大学等でもオンライン授業が始まり、このニュースで報告したように神奈川銀杏会は幹事会や趣味(気功)の会をオンラインで始めています。鳥取県出身東大新入生歓迎会も例年30名集まる会をオンラインで今月開催予定です。さつき会は6月20日総会をオンラインで行う決定をされました。このように、新卒を含めた若手世代にアピールするオンライン企画をどしどし上げ、新たな同窓会活動を開拓されるよう期待いたします。

神奈川銀杏会が幹事及び会員に向けてZOOM操作ガイド全文を紹介しますので、ご参考にしてください。本部事務局としては、まずはZOOMを全ての地域同窓会事務局が習熟するよう、ニュースでの情報提供いたします。また、この機会に、基本インフラとして、会員との連絡手段としてメールアドレスの普及に全力を挙げる必要があります。

○ ZOOM操作ガイド(神奈川銀杏会提供)

2020年4月19日 初版

2020年4月28日 ZOOMインストール方法修正

2020年4月30日 説明を簡易にする

第一章 ZOOM とは

ZOOMとは、会議をオンラインで出来るようにしてくれるソフトウェアの事。有料版と無料版がある。このマニュアルでは、無料版について説明する。無料版では、参加人数が100人までに限定される。

◎まず、主催者がZOOMをダウンロードしたうえで主催者独自のアカウントを作らないといけない。一般参加者もZOOMをダウンロードしてその後、ZOOM会議に初参加する時に、各人独自のアカウントを作らねばならない。「ZOOMのダウンロード」の方法は、主催者も一般参加者も同じである(この方法については、第三章で詳しく説明する)。

◎次に、主催者が、自分のアカウント²⁾を使ってZOOMを立ち上げて、セキュリティレベルを設定したうえで、ミーティングを立ち上げる。そして、参加者に暗証番号を記入した招待状の電子メールを送る(この方法は第四章で詳しく説明する)。

◎最後に、参加者が自分のパソコンで、自分に届いた主催者からの招待状の電子メール中の、ZOOM会議独自に割り振られたURL³⁾の文字列をダブルクリックして、会議に参加する。こうして、主催者と参加者がビデオでつながる(この方法は、第五章で詳しく説明する)。

第二章 主催者と参加者に必要とされるハードウェア

◎主催者と参加者のパソコンの性能はごく普通のもので良く、主催者のネット環境や参加者のネット環境もごく普通のもので十分である。

(以下『』の中はややマニアックな内容なので、気にならない人は読まなくてよい)

『主催者のパソコンからZOOM社のサーバーへは、 6.6×10^5 (ビット/秒)程度で通信が行なわれる。ZOOM社のサーバーは、主催者から送られてきた情報を、何人もの参加者のパソコンにそれぞれ送る。参加者が主催者に返事をした時は、その参加者のパソコンから来た信号を、ZOOMのサーバーは受け取り、主催者に送る。主催者が1名であり、参加者が例えば20名ならば、ZOOMのサーバーと主催者の間には 6.6×10^5 (ビット/秒)程度の回線が作られ、ZOOMのサーバーと各参加者のパソコンの間にも、 6.6×10^5 (ビット/秒)程度の回線が作られる。従って、主催者のパソコンと主催者のネット環境が 6.6×10^5 (ビット/秒)程度に絶えられれば良く、各参加者のパソコンとそのネット環境が 6.6×10^5 (ビット/秒)程度に絶えられれば良い。 6.6×10^5 (ビット/秒)というのは非常に軽い通信量なので、大抵のパソコン、大抵のネット環境で問題は無い。大学とかで200人ぐらいの先生が一斉にZoomの授業を主催すると、大学内のポンコツインフラ(旧式の同軸ケーブルとか)がパンクする場合があるとされている。Zoomのサーバーは、まず、パンクしないように設計されているという。インターネットはコロナで混雑はしているが、まだまだパンクはしないらしい。』

◎参加者のパソコンがデスクトップパソコンである場合には、「3500円～5000円程度の「外付けマイク機能付きの Web カメラ・USB 接続型」を購入してパソコンに USB で繋ぐと、参加者の顔の映像と参加者の声が ZOOM 会議に発信できる。但し今、Web カメラは品薄である)、ないしは、数百円の外付けマイクを購入してパソコンにつなげると、参加者の声のみが ZOOM 会議に発信できる。但し、参加者のパソコンがノートパソコンの場合は普通 Web カメラとマイクはノートパソコンに内臓されているので、通常は改めて Web カメラや外付けマイクやらを購入する必要は無い。

第三章 ZOOMダウンロード

(1) <https://zoom.us/download> をコントロールキーを押しながら左クリックする。

(2)すると、「ダウンロードセンター」の画面が出てくる。

(3)そうしたら、ミーティング用Zoomクライアント という文字の下の「ダウンロード」ボタンをクリックする。

(ケースA)「実行」をクリックすると、Zoomがダウンロードされる。

(ケースB)すると、画面の左下に「Zoomパッケージ」がストンとダウンロードされるので、その「Zoomパッケージ」をダブルクリックする。すると、Zoomがダウンロードされる。

◎これで、ZOOMダウンロードとアカウント作成は完了しているはずである。

以下のユーチューブを参照(Ctrl + 左クリック)すると、ZOOMのダウンロードの手順が良く分かります。

<https://zoom-shukyaku.com/zoom-パソコン-インストール%EF%BD%B0入室/>

第四章 主催者がZoomオンラインミーティング立ち上げる方法(参加者はこの章を読む必要は必ずしもないが、読んだ方が、第4章の理解がラクになる)

(1)主催者は自分のパソコンを立ち上げる。

(2)スタート→「Zoom」をクリック→「SetZoom」をクリック

(3)出現した画面で「サインイン」ボタンをクリックする。

(4)出現した画面で、「スケジュール」をクリックする。

(5) 出現した画面で開始日時を指定する。ミーティングIDは自動生成させる。「ミーティングパスワード必須」のチェックボックスにレ点を記入する。ビデオ「on」か？

(6) 「スケジュール」ボタンをクリックすると、5で記入したミーティングIDとかミーティングパスワードを書き込まれた、作成中の電子メールが立ち上がる。そしたら、主催者は、その電子メールの宛先に、参加者全員のメールアドレスを記入して、電子メールを投函する。

(7) 後は、時間が来たら、オンライン会議を始める。参加者がアクセスしてきたら、主催者は参加者の入室を許可する。この時、同時に一人ずつしか画面が共有出来ないようにする。また、予定していた参加者が全員参加したら、「参加者の管理」で、「詳細」、で、「ミーティングのロック」をかけて、それ以上別の人が乱入出来ないようにしておくこと。

(8) あらかじめパワーポイントのファイルを開いておいて、その後、主催者がZoomを立ち上げ、「画面の共有」をクリックすると、今たちあがっているアプリケーションの一覧が出てくるので、パワーポイントを選択すると、全画面がパワーポイントになり、その全画面が、パソコンのマイクが拾った音声とともに、Zoom会議に、リアルタイムで、ブロードキャストされる。全画面表示を止めたい時は、画面の上の青いボタンの近くに、「共有をやめる」とか「次の共有を開く」とかのボタンがある。「共有をやめる」ボタンを押すと、Webカメラの画像に戻る。「次の共有を開く」をクリックすると、次に例えば、開いているWordの画面を共有できる。主催者が許可すれば、一般参加者も「画面の共有」を使えるらしい(今後確認の必要あり)

◎これで、主催者によるオンラインミーティング立ち上げが完了のはずである。

第五章 参加者がZoomオンライン会議に参加する方法

(1) 参加者は自分のパソコンを立ち上げる。

(2) 参加者は、主催者から送られてきた、Zoomオンライン会議への招待の電子メールを開く。

(3) 電子メールの本文の中の「そのZOOM会議独自のURL」をクリックする。

初回は、平生使うメールアドレスとか、姓名とかをパソコンが参加者に聞いてくるので、それらを参加者は入力する。また、どんなパスワードを参加者が使いたいのかも聞いてくるので、参加者が気に入ったパスワードをパソコンに入力する。このパスワードは手帳にメモしておくこと。「第三章 ZOOMダウンロード」を実行していないと、ここで、ZOOMのダウンロードの手続きが始まるが、これについては、ここでは詳しく述べない。

(4) 「ビデオ・オン」ボタンをクリック(最新のバージョンではこれは省略されるらしい)

(5) 「コンピューター・オーディオに参加する」をクリック。

(6) この後、しばらくすると、主催者が主催者のパソコン上で、その参加者の入室を許可すると、参加者はオンライン会議に参加できるようになる(最新のバージョンではこれも省略されるらしい)。

◎これで参加者はミーティングに入れるはず。

(用語解説)

○ **バス**:サーバーや、パソコン筐体内で、CPU、画面、キーボード、ハードディスク等を繋ぐ、束ねられた64本の電線の事。

○ **ダウンロード¹⁾**とは:

ZOOM社のサーバーから、自分のパソコンに、ZOOMのソフトウェアをダウンロードする = ZOOMのソフトウェアのデータを、ZOOM社のサーバー内の64本のバスから、インターネットの1本の線にシリアル化して伝達。自宅のパソコンに1本の光ファイバーで届いた情報を、ルーターを介して、自宅のパソコン内の62本のバスに、パラレル化して伝達。自宅のパソコンのハードディスク上に、ZOOMのソフトウェアのコピーを作る事。

○ ZOOMのソフトをインストールする=「自宅のパソコンのハードディスクにコピーされたZOOMのソフトウェア」をOS(Windows10)に認識させて、「自宅のパソコンのハードディスクにコピーされたZOOMのソフトウェア」が、OSから様々なサービス(スタートボタンから立ち上げるとか、画面やキーボードとバスを通してZOOMソフトが(他のアプリケーションソフトと協調しながら)通信出来るように調整する等々)を受けられるようにする事。

以上の「ZOOMの詳細マニュアル」をお読みになってから、旭岡さんが紹介してくれた動画2本を見れば、多分ZOOMの事が納得できると思います。この動画2本を見るのに、20分ほどしかかかりません。

○ **アカウント²⁾**:ZOOM社が、ZOOMユーザーを識別するための、文字列の事。

URL³⁾:インターネット上ホームページに割り振られた、https:とかで始まるアドレスの事。

○ ZOOMとはを開設するネット上に公開されている動画

旭岡様から下記アドバイスがありましたので、以下に従ってダウンロード手続きをよろしくお願ひします。

以下に、非常に分かりやすい ZOOMの解説ビデオがあります。(20分もあれば全部聞けます)

ユーチューブで ○<https://www.youtube.com/watch?v=C0feLLJISQ>

または○<https://www.youtube.com/watch?v=ckUdVqL3ZK8>

を見れば、ダウンロードする方法を含めて、ZOOMの操作全般が理解できます。

以上